

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者各位

記者発表資料  
平成22年2月23日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
横浜にぎわい座副館長  
森井健太郎 TEL: 231-2525

《坂あがりスカラシップ2009対象作品》

岡崎藝術座 OKAZAKI ART THEATRE

# リズム三兄妹

東京で上演され話題を呼んだ作品を横浜で待望の再演！

「坂あがりスカラシップ2009」対象者、神里雄大（演出家・作家／岡崎藝術座主宰）による演劇公演「リズム三兄妹」をのげチャーレ（横浜にぎわい座小ホール）にて開催します。

本作は2008年こまばアゴラ劇場（東京都目黒区）にて初演され、1週間の上演を通して口コミで話題を呼び好評を得た作品です。初演から1年半たった今、横浜での制作過程を経て作品がどのような進化をみせるのか。若手演出家・神里雄大の代表作を是非ご紹介していただきたくよろしくお願いいたします。

## 生活する

リズムカルな日常、それを乱す欲望\_揺れ動くこころ

言葉・身体の衝突=音楽\_浮かび上がる人間の生活\_そのパフォーマンス

(i ソファ/sofa ii 告白/confession iii 欲望/desire)

■公演名：坂あがりスカラシップ2009 対象作品

岡崎藝術座「リズム三兄妹」

■開催日時：平成22年2月27日（土）14:00/19:00

2月28日（日）14:00/19:00

3月1日（月）19:30

3月2日（火）19:30

※3月2日13:00～神里雄大×岡田利規（チェルフィッチュ主宰）

によるフリートーク開催（予約不要・入場無料）

■作・演出：神里雄大

■出演：中村真生（青年団）、鷺尾英彰、召田実子、宇田川千珠子（青年団）、  
橋口久男（三条会）、竹中香子、西田夏奈子

■料金（全席自由席）：前売2,500円、当日3,000円、  
高校生以下1,000円・要学生証提示

■会場：のげチャーレ（横浜にぎわい座・地下2階）

リズム三兄妹  
生活する  
RHYTHM THREE SIBLINGS OF RHYTHM  
To Live. THREE SIBLINGS OF RHYTHM  
作者・演出家 神里雄大  
作・演出家 Kazuo Ohno  
のげチャーレ  
横浜にぎわい座副館長 森井健太郎

＜本発表に関するお問合せ＞

横浜にぎわい座 / 担当・天野 TEL: 045-231-2525

坂あがりスカラシップ事務局（急な坂スタジオ内） / 担当・里見、佐藤 TEL: 045-250-5388

Mail: [okazaki.info@gmail.com](mailto:okazaki.info@gmail.com) URL: <http://okazaki.nobody.jp/>

## 「坂あがりスカラシップ」とは

横浜の劇場・稽古場である“急な坂スタジオ”“のげシャール”“STスポット”の各館が連携し、稽古から劇場上演までをトータルサポートする若手舞台芸術家の創作支援プログラムです。当スカラシップは、稽古場や公演会場を無償で提供するだけでなく、制作段階において生じる様々な課題を共に考え、長期的な視点でアーティストやカンパニーを支援してゆきます。

## プロフィール

### 岡崎藝術座(おかざきげいじゅつざ)

オリジナル戯曲・既成戯曲問わず、神里雄大の演出作品を上演するカンパニーとして2003年に結成。現代演劇のジャンルにとらわれず、能や舞踏、コンテンポラリーダンスなどの身体性を要素として取り込み、それらをぶつけ合い暴発させる演技体を特長としている。最近では、めまぐるしく変化する身体表現に加えて、音楽・歌・テキストの語幹などといった聴覚表現も重要な要素として作品に取り込まれている。また、劇場はもとより路上やスキー場跡地、4畳半の家などでも公演を行っており、それぞれの「空間」が内包するドラマ性と向き合っている。どんな環境においても作品を作ることができることも特徴のひとつと言える。なお、座長の岡崎誠二は演劇素人で、作品の創作には関わっていない。旗揚げ当時、神里が岡崎に借金していたためこの劇団名になった。

### 神里雄大 (かみさとゆうだい)



演出家・作家/岡崎藝術座主宰・鯛[hatahata]演出家。

1982年ペルー共和国リマ市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。

2003年に「岡崎藝術座」結成し、その後、年4〜5本というペースで作品を発表し続けている。2006年『しっぽをつかまれた欲望』（作：パブロ=ピカソ）で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞を最年少で受賞。

「演劇は俳優芸術である」という考えのもと、舞台上での俳優の存在をことさらに強調する演出（＝演技をしている作られた身体と日常のゆるい身体の状態を混在させ舞台上にあげる演出）が特長。同世代6人の演出家による連続上演フェスティバル「キレなかった14才♥りたーんず」（2009年）で知り合った白神ももこ（振付家・ダンサー）と、新ユニット「鯛[hatahata]」を結成し平行して活動している。また最近では、青年団若手自主企画、BeSeTo 演劇祭、アジア舞台芸術祭等に招かれるなど個人の活動も多い。また2009年に上演した「ヘアカットさん」は岸田國士戯曲賞第54回最終候補にノミネートされた。

### 【自作の戯曲(すべて作家本人で演出)】

- ・『不景気』シリーズ全3作（2004-2006年／観客を外に連れ出す公演。ここから「劇場を飛び出す劇団」と呼ばれることになった）
- ・『アメリカンポップミュージック2007桜』（2007年／R+Meeting参加作品）
- ・『雪いよいよ降り重ねる折からなれば也』（2007年／第14回BeSeTo演劇祭参加作品）
- ・『リズム三兄妹』（2008年／こまばアゴラ劇場）
- ・『グアニー ～時間がいっぱい』（2009年／6人の演出家による連続上演フェスティバル「キレなかった14才♥りたーんず」参加作品）
- ・『ヘアカットさん』（2009年／こまばアゴラ劇場）ほか多数

### 【自作以外の演出作品】

- ・『ゴドーを待ちながら』作:サミュエル・ベケット(2005年)
- ・『オセロー』作:シェイクスピア(2007年)
- ・『グローバリゼーションに関する短編戯曲』作:ドミニク・オーランド(2008年／国際ドラマリーディングフェスティバル参加作品／世界初演)
- ・『三月の5日間』作:岡田利規(2008年／上野・新百合ヶ丘(共催:川崎市アートセンター)同時公演)
- ・『昏睡』作:永山智行(2009年／青年団自主企画vol.42)ほか多数